



場所： メッセ・ベルリン/Berlin ExpoCenter City
(ドイツ・ベルリン)

会期： 2016年9月23日-26日

主催： メッセ・ベルリン社

開催： 隔年開催

- ・ 出展者、来場者ともに増加
- ・ 多数のビジネス取引とジョイントベンチャーの合意
- ・ 屋外展示場に127の車両を展示
- ・ InnoTrans 2016の参加者、これまでで最高の評価
- ・ InnoTrans Convention では優れた専門家の対話

世界最大の鉄道技術専門見本市 — これまでで最大規模、最高の成果

第11回InnoTransは、ベルリンにて2016年9月23日から26日、InnoTrans史上最大規模で最高の成果を挙げて開催されました。鉄道業界におけるグローバルなネットワーク、ビジネスの場であり、60カ国から2,955社が出展し、そのうち200社は初出展、出展者数は前回比7%増、トレードビジター数は4%増となりました。メッセ・ベルリン展示会場の全てを使用して開催され、総展示面積は112,000㎡でした。

屋外展示場には127のイノベティブな車両が展示され、InnoTransのハイライトともなった149の製品が世界初披露されました。InnoTransは、鉄道業界のイノベーションを促進し、マーケティング・プラットフォームとしての地位を確立しています。今回のInnoTransには、140カ国以上から144,470人のトレードビジターが来場し、トレードビジターの満足度は、90%を超えています。

ビジネスを推進するInnoTrans

InnoTrans2016では、数百万ユーロにおよぶ契約締結と数多くのジョイントベンチャーが発表され、鉄道業界の世界最大のマーケットプレイスとの評価を立証するものとなりました。

VosslohとCRCC HighTech Equipment Corporation Limited (CRCCE)が、自走式高速研磨機の組み立てに関する2つの契約書に署名し、Solarisとライプチヒ交通局の間に最新世代のソラリス・ウルビーノ18バスを14台収めるという合意が交わされています。

Stadlerは、Alpha Trainsから44台のelectric multiple unitsの改造を受注する等のいくつかのビジネス成果を発表し、Bombardier TransportationとChina Railway Rolling Stock Corporation (CRRC)は、戦略的ジョイントベンチャー合意に

署名、その協力関係を拡大・強化しています。

InnoTransは、政治と産業界の間のコミュニケーションのためのハブとしての重要性も高めています。会期中に、ドイツ連邦交通・デジタルインフラ省 (BMVI)は、代替駆動システムの2つの開発プロジェクトの支援 (ボンバルディアに400万ユーロ、アルストムに800万ユーロ)を承認しました。

屋外展示

屋外展示場には、127台の鉄道車両が展示され、トレードビジターを魅了しました。世界トップクラスの出展者が、InnoTransの機会を利用して、その最新車両をグローバルなビジターに初披露し、また顧客への車両引渡し式も行われました。

アルストムは、新型の地域交通車両、燃料電池搭載のCoradia Lintを、シーメンスは高速鉄道車両"Velaro Turkey"および地下鉄用車両"Metro Riad"を展示、どちらも世界初披露となりました。Plasser & Theurer/Managing director, Johannes Max-Theurer氏は、新シリーズのトンネル点検車705.1をDB Netz社/Head of Production, Dr. Roland Bosch氏に引き渡しました。

Stadlerは、新型のユーロシティ車両EC250 "Giruno"を、同社のグループCEO兼ProprietorであるPeter Spuhler氏、スイス連邦鉄道SBB/CEO、Andreas Meyer氏らの列席のもとに引渡し式を行いました。Mercedes-Benz Special Trucksは、新型の軌陸車Unimogを披露しました。

ますます高まる国際性

InnoTransの特徴の1つは、その国際性の高さで、世界60カ国から企業が出展しドイツ国外からの出展者はこれまでの最



次回 InnoTrans 2018 2018年9月18日-21日

統計データ (2016)

総展示面積	200,000㎡
実質展示面積/屋外展示	111,984㎡/9,011㎡
屋外展示レールの長さ	3,500m
出展者数	2,955社/60カ国
うちドイツ国外の出展者	1,843
ビジター総数	144,470/119カ国
うちトレードビジター数	137,391
展示車両数	127
開催間隔	隔年

多で62%を占めています。アルメニア、アゼルバイジャン、エジプト、香港、タイ、ベトナムの6カ国が、初出展となりました。今回もまた欧州以外の国からの出展者の割合が増え、22%に達しています。最も増加したのは、アジアとオーストラリアです。特に注目されるのは中国とオーストラリアであり、前回2014年に比べ、それぞれ77%増加しています。

JORSAがまとめる日本パビリオンは、今回もまた1ホール全てを使って出展、他の多くの単独出展とあわせて日本のプレゼンスを大きくグローバルに示すものとなりました。

出展者・トレードビジターアンケート結果

出展者、トレードビジターともに、InnoTrans2016での成果にとっても満足と回答しています。出展者の約90%が、このイベントを他の人に勧め、次回も参加するつもりだと回答し、同じく約90%が会期後のビジネス成果を期待しています。トレードビジターについては、これまでと同様にトップクラスのディビジョンメーカーが高い割合を占め、InnoTrans全体、出品品の品揃え、ビジネス成果について全体としてプラスの印象を持っています。そのうち半数が自社の購入・仕入れの決定に、決定的あるいは決定に寄与する影響力を持っており、これは会期中に締結された取引数の多さに反映されています。また90%がInnoTransを他の人にも勧めるだろうと回答しています。



日本のプレゼンス

日本鉄道システム輸出組合 (JORSA) がとりまとめる日本ブース共同出展者:

- 林総事 (株)
- 近畿車輛 (株)
- (株) 京三製作所
- 三菱電機 (株)
- 三菱電機ヨーロッパ
- 三菱電機クリマット・交通システム (株)
- 三菱重工業 (株)
- 三井物産プラントシステム (株)
- ナブテスコ (株)
- 日本信号 (株)
- 新日鐵住金 (株)
- (公財) 鉄道総合技術研究所
- 大誠テクノ (株)
- 東京地下鉄 (株)
- 東洋電機製造 (株)
- (株) ヤシマキザイ

Save the date!
InnoTrans 2018
2018年9月18日
- 9月21日

日本からの単独出展者:

- アネスト岩田 (株)
- バンドー化学 (株)
- デザイン (株)
- 東日本旅客鉄道 (株)
- 共同出展: (株) 総合車両製作所
- 富士電機 (株)
- 古河電気工業 (株)
- (株) ゴールドシュミット・テルミット・ジャパン
- 日立オートモティブシステムズ (株)
- (株) 日立製作所
- 日立金属 (株)
- (株) 日立ニコトランスミッション
- (株) IHI
- 日立ジョンソンコントロールズ空調 (株)
- 川崎重工業 (株)
- KYB (株)
- (株) 明電舎
- パナソニックシステムネットワークス (株)
- スガツネ工業 (株)
- 住友電気工業 (株)
- 住友精密工業 (株)
- 住友理工 (株)
- 天龍工業 (株)
- (株) 東芝
- 東洋ゴム化工品 (株)

(アルファベット順)

InnoTrans会議

InnoTrans会議は、トレードビジターと業界専門家の方々に、専門的議論の公平な発言の場を提供します。

InnoTrans2016では、現在および将来におけるモビリティの重要課題を取りあげた5つの主要なフォーラム、11のイベントが開催されました。

Dialog Forumでは鉄道の乗客・貨物輸送におけるデジタル化およびデジタルサービスのための技術に焦点をあて、Rail Leaders' Summitは、多くの著名人を迎え「デジタル時代におけるイノベーション: 将来の課題に直面する鉄道」というテーマで開催されました。Alexander Dobrindtドイツ連邦交通・デジタルインフラ相は、鉄道セクターにおけるイノベーションの力を強調し、鉄道は常にイノベーションという基調姿勢を打ち出してきた、とコメントしました。

International Design Forumは、デザインとモビリティの密接なつながりに関する議論の場を提供しました。DB Innovation Forumでは“Open Innovation@InnoTrans - Creating a better and more sustainable mobility”をテーマに討論されました。International Tunnel Forumでは、ビルディングインフォメーションモデリング (BIM) の付加価値、トンネル工事における設計、企画、施工の相互接続をテーマの1つとして取り上げました。

Phillipe Citroën, director General of Union of the European Railway Industries (UNIFE)

InnoTransは、鉄道業界にとって最も魅力的な展示会であることをあらためて立証した。UNIFEは、この素晴らしいイベントでWorld Rail Market Studyを発表し、欧州鉄道輸送管理システム (ERTMS) の合意に関する重要な覚書に署名し、欧州および世界の関係者との協力を強化した。私は、鉄道業界のダイナミズムとイノベーションに感銘を受け、すでに今からInnoTrans2018を楽しみにしている。

Jürgen Fenske, President of the Association of German Transport Companies (VDV)

InnoTrans初日から、業界のポテンシャルの高さ、そしてその将来の見通しは極めて明白だった。この印象は会期中、日毎に強まった。InnoTrans開催の数日間に、世界の鉄道輸送は、効率的でモダンかつ環境にやさしい将来の輸送手段であることが示された。ドイツ交通工業会 (VDV) を含むInnoTrans主催者は、InnoTransが、メーカーと鉄道事業者が最新のイノベーションを紹介する国際的に認められた世界屈指の鉄道イベントとなったことを誇りに思うべきだ。

Dr. Jochen Eickholt, CEO, Division Mobility of Siemens AG

InnoTrans2016は、我々にとって素晴らしいイベントだった。今回の出展では、我々の顧客が市場において競争力を高め、その地位を強化することを可能にするデジタル技術に重点を置いた: より柔軟で高度な処理能力のための自動運転、最大の稼働性を提供するデジタルサービス、乗客に最高の快適さをもたらすITシステムである。顧客からのデジタル化への関心の高さがわかり、あらためてその重要性を確信した。我々はこの分野における技術の主導権を今後も強化していくつもりだ。

Laurent Troger, President, Bombardier Transportation

InnoTrans2016は、期待以上だった。我々のメッセージは、モビリティおよび人々を結ぶというコンセプトであり、多くの参加者が、都市内・都市間のモビリティ改善について熱い議論を交わした。会期中、世界中から集まった顧客と、いかにイノベティブで持続可能なモビリティ・ソリューションを共に作り上げることができるかについて集中的に対話した。今日、デジタル化は、確実に重要な役割を担っている。わが社の新製品とソリューションを発見することができる未来への旅 "Virtual Reality Tour" を提供した。

MAGLEV 2016

InnoTrans2016では、新しく "Conference Corner" を展開、磁気浮上技術に関するMAGLEV2016会議が、9月23日から26日まで開催されました。トレードビジターデーの最終日に始まり、各業界団体や輸送会社などが独自に会議を主催する機会を提供しています。



次回 InnoTrans 2018
2018年9月18日-21日

InnoTrans2018に
是非ご出展・ご来場ください!

メッセ・ベルリン日本代表部
〒107-0052 東京都港区赤坂 7-5-56
ドイツ文化会館4F mbj (株) 内
Tel: 03-6426-5628 Fax: 03-6426-5629
info@messe-berlin.jp